## 今後の予定

13:30~15:30 区長さん役員さんおしゃべり会 ~事例紹介・これからの自治区~ 5月20日(金) 場所:未定

13:30~15:30 カフェさくさぽ~LGBTQ 多様な性ってなんだろう?~(仮) 5月28日(土)

場所:未定

※タイトルや内容、開催時期は変更となる場合があります。開催日時等の詳細は決定次第、さくさぽフェイスブックページ・ ホームページ・さくさぽ窓口で順次、発信・告知します。参加の際は、電話もしくはメールでの事前申し込みをお願いします。

## さくさぽアルバム~最近の市民活動風景から~





【高校生のお悩み相談】

スクールについて情報交換】【学校支援コミュニティ 各地域の事例についてネーターや教育委員ら



ワークテラス佐久】 講座報告会@



空を ま で、吹降た。

季 節  $\mathcal{O}$ 



機関紙についての感想・ご意見はこちらへお寄せください↓ ※記載の情報は 2022 年 3 月時点の情報です

<編集・発行>

## 佐久市市民活動サポートセンター

〒385-0043 長野県佐久市取出町183 野沢会館2階 開館時間: 9 時~20 時・月曜休館 (祝日の場合は翌火曜休館 ) Eメール:sakusapo@sakunet.ne.jp

TEL: 0267-64-6362 FAX: 0267-64-6363











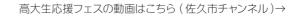
はこちら

# ワカモノが地域に出ると何が起きる? 「佐久平地域まるごとキャンパス」

佐久市域全体を「キャンパス」とし、高校生や大学生が地域活動に携わる「佐久平地域まるごとキャン パス(通称: まるキャン) |。8月~12月にかけて、延べ78名の学生が10種のプログラムに参加し、地域 のサポートでイベント企画や、企業と連携しSDGsへ繋がる商品企画提案等、様々な活動に挑戦しました。 プログラムのひとつ、「まちづくりラボ~高齢者のつながりと社会参加(受入れ団体: NPO法人うすだ 美図) には、看護学生ら18名が参加。誰とも話さない日が多いという独居高齢者について話し合い、「病 気等で外出できない方を訪問し、料理を作り仲良くなり、お祭りを企画したい」という学生の声から「お 宅訪問から始まる HRM(H: 訪問、R: 旅行、M: 祭り) ツアー| が企画されました。コロナ禍で実行に は至りませんでしたが、学生達は今後実現に向けて挑戦したいと希望し、団体も「斬新なアイデア等学生 から学ぶことも多く、今後も一緒に取り組めたら」と、意欲的。臼田在住の学生は「自分のまちについ て知らないことが多く、今回、地域の魅力を感じることができた。今後も活動に関わりたい」 くれました。

2月6日には「佐久平高大生応援フェス」をオンライン開 催。まるキャン報告会とゲストによるトークセッションに、 学生から85歳まで総勢100名が参加しました(動画は YouTubeでご覧いただけます)。

-クセッションには「マイプロジェクト」の 生みの親・井上英之さん、Learn by Creation



2022年3月 春号 さくさぽ (39 号) さくさぽ (39号) 2022年3月 春号

## **● ● ● ●** イベントレポート **● ●**

\_\_\_\_\_

さくさぽで主催したイベントの報告です。内容を詳しく知りたい方はお問合せください!

### 11/ 【「小規模多機能自治」とは? 地域運営の勉強会

持続可能な地域づくりに向けて、全国各地の取組み 事例を学ぶ小規模多機能自治推進ネットワーク会議 主催のオンライン勉強会を、さくさぽでサテライト視 聴しました。佐久地域の区の役員や市の職員など11 名の参加者と一緒に全国の事例について学びました。



## 資金調達講座・入門編 ~11〜~寄付集め、初めの一歩~

寄付をもらうカギは「胸を張って自分の活動を伝え られるかどうか!! 侍学園スクオーラ・今人理事長の 長岡秀貴さんによる事例紹介と、日本ファンドレイ ジング協会常務理事の鴨崎貴泰さんによる講座。 活動の支援者を整理するワークにも挑戦しました。





「ノウハウが知れて良かった」と好評でした

### 【協働のイメージ】

## お知らせ// 「第二次佐久市協働のまちづくり計画」 ができました!

目指すのは「ひとと地域の力が生きる協働と交流のまちづくり」。 市民やボランティア団体、企業などがアイデアやできる事を持ち 寄り連携することで「くらしやすいまち」に、また、自ら参加す ることで生きがいを感じられる「住み続けたいまち」になるよう に取り組んでいきます。設立10周年を迎える市民活動サポート センターも、コーディネート支援や情報発信を通じて、協働の まちづくりを推進していきます!

#### ①課題や目標が ②同じ思いを持つ









## さくさょぽ スタッフの つぶやき

こんにちは! 佐々木です



## 地域まるごとキャンパス コーディネート業務を振り返って

今年度初めて取り組んだ「まるキャン」は、7月の参加学生募集時がコロナ禍で、学校訪問不可! 学生の校外活動禁止!周知もできない状況でした。急遽、説明動画を作り SNSで周知したり、 学校へお願いしオンラインで学生へ説明したり、受入団体には活動期間を延長して頂いたり…。 皆様のおかげで、感染レベルが下がる秋頃には多くの学生が参加し活動に取り組むことができ ました。

10種のプログラムがありましたが、学生が他プログラムで活動する同世代の姿を見て刺激を 受けたり、他校の学生と協力して取り組む姿も見えました。プログラムのひとつ「編み物で支援」 では手編みに悪戦苦闘する学生も。そこで学生が得意なチラシ作成や販売会など他の役割を提 案したところ、安堵の笑顔。それぞれの個性を活かした活動となりました。

学校・家とは違う、地域の大人と出会える場に可能性を感じる学生もいて、これをきっかけに自 主的な活動も出てきました。団体側からも「学生から学ぶことが大きい。今後も一緒に活動した い」と前向きな反応。さくさぽでもご縁を大事にして、時々「おせっかい」したいと思います。

# **\*\*\*\*\*\*\*\*** 市民活動 クローズアップ **\*\*\*\*\***

新型コロナウイルスに負けない!佐久地域発の元気な市民活動をご紹介します。 みなさんの周りではどんな活動がありますか?ぜひ、さくさぽまで情報をお知らせください!

## 『子育てサポートこだま』 ~1人で悩まず、皆で子育てを~

2021年11月19日[いい育児の日] に、新しい子育で支援団体が 発足! もともと未就学児を対象とした親子サロンの開催や、べ ビーマッサージなど、それぞれの立場で育児をサポートしてきた4人 のメンバー。「もっと広く必要な人に情報を届けて、1人で子育てに 悩むお母さんたちが孤立しないようにしたい」と話します。コロナ 禍ではオンラインも交えながら、今後もアレルギーや不登校など 色々なテーマで悩みを相談しあえる場づくりを予定しています。

【代表】山浦 靖子さん(080-1120-7069)





#### 『デザインミーティング中込』 ~あるものを活かす~

中込グリーンモールでは、昨年から人工芝が敷かれ白い星型テン トやイルミネーション等飾り付けがされています。「中込の日常に、 人が滞在できる景色をつくりたい! そう話すのは、メンバーの廣末 恵子さん。商店街理事や商店主、旅館経営者ら6名の有志団体で、 現在、都市計画課と連携し中込のまちづくりを考えています。「チャ レンジショップでお店を開いてくれる人を募集したい! と意欲的。

【連絡先】大工原 真由美さん

(美容室チェリエ 0267-78-5004)







#### 市民活動団体とは?

市民の自主参加で活動に取り組む団体のことです。NPO法人、区等の自治会、PTA等の組織、 趣味の会やサークルも含みます。佐久市の市民活動団体として登録すると、行政など幅広い層 に活動を知ってもらえます。登録ご希望の方はさくさぽまで! (現在の登録団体数: 217団体)



### これからの「社会の変え方」を、探しに行こう。

著者: SSIR Japan 発行: 英治出版 2021年

『スタンフォード・ソーシャルイノベーション・レビュー』(SSIR: スタンフォード大学 のビジネススクール内で創刊された専門のメディア)より、10本の論文が日本語訳さ れた本書。コミュニティ中心の計画、生息地保全計画、社会的責任投資など、互いに どう「協働」していくのかについて、市民活動団体、企業、学校、行政など様々なステー クホルダーにとって活動のヒントが沢山あります。